

名句のパロディ その29 (残暑)

- 秋近き心の寄るや四畳半 (芭蕉)
～ 秋近き季節が来るもまだ夏だ
- むざんやな甲の下のきりぎりす (芭蕉)
～ むざんやな被害広がるガザの街
- 新米もまだ草の実の匂いかな (蕪村)
～ 新米も古米も共に値上がりだ
- かたつむりそろそろ登れ富士の山 (一茶)
～ なめるなよ怒れば怖い富士の山
- 落穂拾い日当たる方へ歩み行く (蕪村)
～ 党首選利のある方へ歩み行く